



▲明倫ストリートフェス

皇學館大学 COC

CLL 活動

interim
report

平成 29 年 9 月



▲明倫ミーティング@まちなか研

宇治山田産官学拠点「まちなか研究室」運営プロジェクト

★宇治山田産官学連携拠点「まちなか研究室」運営プロジェクトとしての主な活動としては、まず「まちなか研究室」の利用についてである。学生たちが今後トラブルなく使えるようにするにはどうすればいいのか、そのため「まちなか研究室」の管理方法について考えたのが主な活動の1つ目である。

2つ目の活動としては「ストリートフェスinめいりん」への参加である。ここではバルーンアートを子どもたちに配る活動が主であった。そのため事前からバルーンアートを作成するための練習など気合の入ったものであった。しかしながら子どもが少なかつたためそれほど満足いく結果ではなかつた。

今後の展望としてはまず「まちなか研究室」の運営についてより具体的に活動をして行きたいと思う。これまでは「ストリートフェスinめいりん」の活動があったためそちらが中心になってしまっていたが、今後はよりそちらに力を入れられるであろう。

また「まちづくり新聞」に関して今後関わっていく予定であると思われるので、そちらに対して力を入れていきたいと思う。実際自分たち自身で地域の魅力を発信するということは機会としてはこれ以上ないチャンスであると思われるので、このことで自分たちが伝えたい地域の魅力などを伝えていければいいと思う。

(石河)

★「まちなか研究室」運営プロジェクトとは宇治山田駅のショッピングセンター内に設置されている「まちなか研究室」をどう運営、活用していくかということを考え実践していくプロジェクトのことだ。

私たちが今年度してきた活動の内容は「まちなか研究室」の使い方のマニュアル作りと宇治山田駅の近くにある明倫商店街の祭りへの参加だ。

マニュアル作りは「まちなか研究室」の鍵を借りて実際に中に入るまでの手順や火気厳禁などの禁止事項、退出するときの手順をわかりやすく明記されたものを作った。このマニュアルはすでに早速学生に使ってもらった。

次に明倫商店街の祭りへの参加の内容は小学生ぐらいの子供を主な対象としたバルーンアートを作り、渡すというものを行った。しかし私たちはバルーンアートの作り方をしらなかつたのでまずは作り方を知るところから始まった。学生でつく方を知っている人がいたのでその人に教わりながら勉強した。教えてもらったものは、犬・ウサギ・剣・などだ。力のいれ方ですぐに破裂してしまうバルーンアートは作るのが少し難しかった。祭りの当日は台風が接近していたが結構よい天気で成功だった。明倫商店街の中に机を置かしてもらいバルーンアートを100個ぐらい配った。

今後の活動はこれまでやってきたように「まちなか研究室」の運営に関することをみんなで話し合い実践していくと同時に宇治山田駅の周辺や伊勢市の町に人を増やせる活動をしていければいいと考えている。

(北岡)